

多治見市心身障害児通園施設 ひまわり 子どもの家

平成21年4月から多治見市の指定を受けて、多治見市社会福祉協議会が管理・運営しています。心身に障がいや発達に遅れのある就学前の幼児（一部小学生）を対象に、遊びや生活づくりを中心とした療育を行い、子どもたちの健康で豊かな発達の促進と、保護者間の交流や子育てを支援します。

療育＝障がいがある子どもに対し、機能を高め、社会的に自立することに向けて援助すること。

療育内容

母子グループ療育

発達や年齢などを考慮し、グループごとに社会性の発達を促しながら、集団適応能力を高める支援をします。3歳未満児のグループでは、1カ月に2回ほど弁当による食事指導を行います。

ソーシャルスキルトレーニング（SST）グループ（年長児＝5歳児対象）

社会生活や対人関係を営むための技能について、その方法やコツを具体的に教え、生活がより豊かになるよう支援します。

ペアレントトレーニング（親対象）

親が、子どもの行動についての理解と適切な対応方法を具体的に学び、より良い親子の関係づくりと、子どもの適応行動を増やします。

個別療育

担当の指導員とマンツーマンで療育を行います。

作業療法

作業療法士が、遊びや生活を通して、子どもの身体機能・認知・心理行動面に対し、発達の特性に応じた支援をします。

言語療法

言語聴覚士が、遊びや生活を通して、口腔機能の働きを高める方法を探り、聴く力や意思を伝達し合う力など、言葉の育ちを支援します。

音楽療法

楽器の操作や歌うことで、情動（恐怖・怒り・悲しみなどの急激で一時的な感情）の発散や安定を図り、コミュニケーション能力の発達を支援します。



指導員が演じた寸劇を見て、
幼児が質問に答える
ソーシャルスキルトレーニングの様子

福祉委員の活動紹介

多治見市社会福祉協議会は、自治会の協力を得て、町内会単位に福祉委員を設置しています。福祉委員は、民生児童委員や地域のボランティアと協力し、見守り活動や交流会など、地域住民の支え合いを推進しています。

25区福祉委員会（池田地域）

12月4日(土)、喜多町集会所で、地域住民が気軽に集い、交流を図るひまわりサロンを開催しました。福祉委員が、地域の一人暮らしの高齢者に、案内ちらしを配付して参加を呼び掛けました。当日は、区長や民生委員、老人クラブの会長も参加し、手品の観賞や会食で楽しく交流を深めました。福祉委員は、一人暮らしの高齢者の安否確認を兼ねて、年5回ひまわりサロンを開催しています。



手品を楽しむひまわりサロンの様子

30区福祉委員会（南姫地域）

12月18日(土)、ふれあいセンター姫で、区長、民生委員、福祉委員の交流会を開催しました。振り込め詐欺や悪質商法などについて、研修を行った後、民生委員の担当する地域ごとに、情報交換を行いました。区長、民生委員、福祉委員が連携して行う、地域の見守りネットワークの構築に向けて、福祉委員の位置付けや活動内容など、多くの意見が交わされました。



研修の資料に目を向ける参加者たち